



— 稲刈り体験（5年生） —



24日（月）に、5年生が稲刈り体験にリトリート田倉に行ってきました。（今年度より、米作りは、これまで郡内3校で行っていたリトリート田倉での体験学習に湯尾小学校も参加することになりました。）大変良い天気恵まれ、さらに先週末までの猛暑も去り、からっとした秋らしい天候で絶好の稲刈り日和でした。

子どもたちは、稲刈り鎌を初めて使うので、初めのうちはなかなか上手に刈り取ることができませんでした。しかし、子どもたちの適応力はすごく、くり返していく内にどんどん上手になり、刈り取った稲を次々と畦に並べていきました。額に汗しながら、子どもたちの手で、あっという間に田んぼの半分の刈り取りしました。とてもよく頑張りました。

この刈り取ったお米は、この後精米して学校へ届けられるそうです。このお米を使って、家庭科のお米の炊き方の学習をすることになります。汗水垂らして刈り取ったお米なので、きっとおいしさも倍増すること間違いなしです。その時が楽しみです。

さて、湯尾小学校では、もう一つ稲刈りをしました。それは、バケツで育てた稲の刈り取りです。

田植え体験は、予定していた日に雨が降り、残念ながら中止になってしまいました。しかし、これまでに社会科の時間などで田植えの事前学習を済ませていたので、バケツに苗を植え育てることにしました。子どもたちは、夏休み前まで交代で水やりを行いました。そして、バケツの稲も良い具合に実りました。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」子どもたちは、自分のバケツの稲を自分の手で刈り取りました。この後、乾燥させて、手作業で脱穀、精米をする予定です。どのくらいのお米がとれるのかが、とても楽しみです。

24日は、稲刈り三昧の日でした。

